



辟雍

HEKIYOU

東京学芸大学辟雍会機関誌

Vol.11
2014



辟雍会 11年目の
新しいスタート

- 01 辟雍会 11年目の
新しいスタート
- 06 新しい 10 年に向けて
辟雍会会長 鷺山恭彦
- 07 クリエイター集合
Hekiyou Press Club
- 10 辟雍カレンダー
- 12 辟雍キャラクター 3 兄弟
- 13 HEKIYOU INTERVIEW
博多哲也 + 博多歩
- 18 変わる學藝大学
- 20 国分寺 MAP2014
- 22 平成 26 年度
各部活動報告
- 24 あとがき





辟雍会
HEIKYOKAI

辟雍会 11年目の 新しいスタート

辟雍会 11年目の 新しいスタート



新しくなった辟雍ウェブサイト www.hekiyou.com



11年目の新しいスタート
を切った辟雍会のウェブ
サイトが新しくなりまし
た。みなさんが参加しやすいサイト
になっています。

新しい記事が投稿されると、左上か
ら表示され、更新される様が目に見
える形で表わされます。

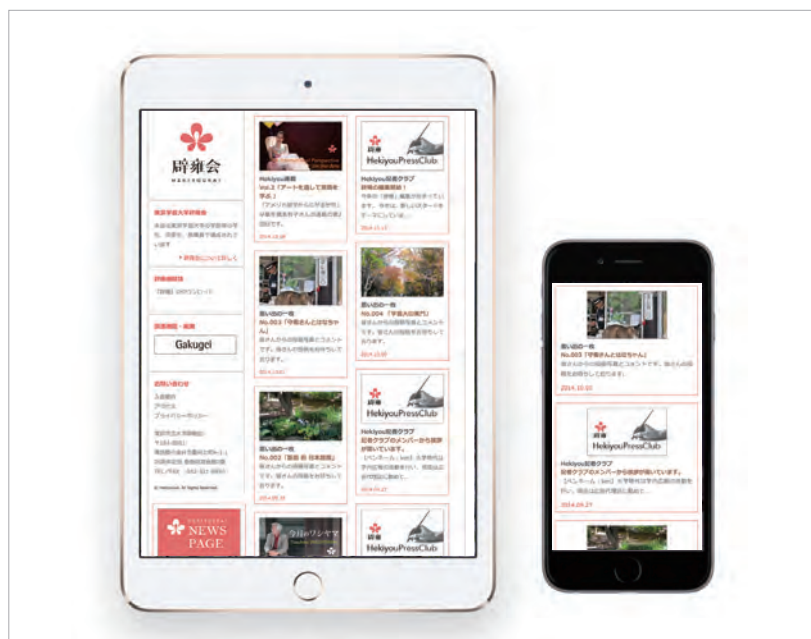
企画・監修	辟雍会広報部
Director	金ミンコン
Press Club	赤川まどか
	剣持龍一
	渡邊桜
System	Sunprocess

タブレットやスマホに完全対応



新しいウェブサイトは、
端末によって表示が最適
化するレスポンス・デ
ザインを採用し、より若い世代向け
に設計しました。

タブレットやスマートフォンの画面
の大きさに合わせて、3列から1列
に並びます。いつでも直感的な操作
でサイトにアクセスできるようにな
りました。





辟雍会の概要は左のメニューから



辟雍会の概要（辟雍の由来、沿革、設立趣旨、会則など）

については、左のメニューから一回のクリックで、すべて閲覧できます。

機関誌『辟雍』も左にあるダウンロードメニューから入ると、既刊の『辟雍』の閲覧が可能です。



写真から思い出をたどっていく 「思い出の一枚」



新コンテンツ「思い出の一枚」は、学芸大関係者ならどなたでも投稿できる写真コーナーです。もし、眠っている学生時代の写真、学芸大にまつわる写真などがあれば、投稿してみませんか？

● 投稿方法



みなさんからの投稿をお待ちしています。文字数は200字以下。お名前（ペンネーム可能）と、写真をメールに添付して送ってください。

omoide@hekiyou.com

辟雍会 11年目の
新しいスタート

辟雍連載



投稿によるウェブ連載も開始！



第1弾として、アメリカ滞在中の卒業生で橋本有子さんの連載を10回に分けてお届けします。

橋本さんからのコメント

2006年にA類学校教育を卒業しました橋本有子です。2009年にアメリカ留学のためにニューヨーク州に移り、現在はニューヨーク州ブルックリン市に在住、舞踊・身体教育や国際交流事業に関わっています。2013年夏に学芸大カフェで「学校教育におけるダンス～アメリカの教育現場を通して～」と題してお話したのをきっかけに、この度辟雍会ホームページに、エッセイを連載させていただくことになりました。学芸大学を卒業して8年、卒業後の経験や現在取り組んでいること、また考えていることなどを、留学体験を中心に書いていく予定です。留学を考えている方、舞踊教育や国際交流教育に興味がある方、現役学生さん、OBOGの方など、多くの方々に読んでいただけたら幸いです。

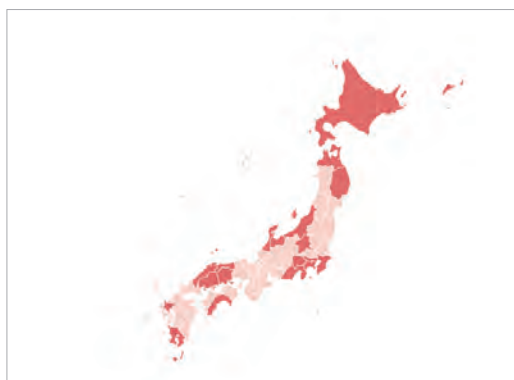
● 投稿方法



辟雍会では皆さんを応援しています。

その一つとして、皆さんからの投稿記事や執筆者の推薦を受け付けております。発信したいを気軽にご連絡ください。お待ちしております。

edit@hekiyou.com



支部のページも準備中！

辟雍会の支部の元気な声をお届けするためのページも準備しています。赤色の部分は、支部のある地域を表しています。今後、各支部が配信したい内容に応じて、充実させていく予定です。応援よろしくお願いします。



次から次へと繋ぐ学芸リレー



書いた人が次の人を紹介し、リレーしていく新コーナーです。テーマは自由

で、普段の仕事や日々考えていること、趣味など様々です。

その第1回目は、現在、中央区立明石小学校教諭として務めている山本優衣（2013年卒業、A類美術出身）さんです。

● 投稿方法



このコーナーは在学生も参加できます。リレーに参加したい方は、ご連絡ください。お待ちしております。

edit@hekiyou.com



今月のワシヤマ

Yasuhiko WASHIYAMA

今月のワシヤマ完全復活！

washiyama.net



「今月のワシヤマ」がリニューアルして帰ってきました。2003年から続い

ていた鷺山恭彦さん（辟雍会会長）の「今月のワシヤマ」は、今後も休むことなく配信していきます。

辟雍会 11年目の
新しいスタート

新しい 10 年に向けて

辟雍会会長 鷺山恭彦

今年は創立 11 年目、新しい 10 年に向かう 1 年目がいよいよ始まった。まずは新しいウェブサイトの構築に取り組んでおり、卒業生、在校生が、より親しく発信、受容、交歓していただける体制づくりを目指している。また機関誌『辟雍』も、在学生、卒業生を交えた編集体制をつくり、新しい感覚の会誌をお届けできればと思っている。

教育をめぐる最近の感銘深い出来事は、マララ・ユスフザイさんのノーベル平和賞受賞だろう。「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、一本のペンが世界を変える。教育こそが世界を変えられるのです」——昨年 7 月の国連総会での訴えが鮮烈だ。

女子教育を否定するパキスタンの反政府武装勢力タリバンに支配下にあって、学びへの強い声を上げ「スワート渓谷の少女たちの声」として注目されたが、14 歳になった 2012 年、バス通学中に友人と共にタリバンに銃撃され、頭部に重傷を負う。英国で治療を受け奇跡的に回復。17 歳の最年少受賞となった。

受賞を聞いてマララさんは、「この受賞は、声なき声の子どもたち、それを聞いてもらいたい全ての子どもたちのためにあります」と語り、「子どもたちには、良質の教育を受け、児童労働を免れ、人身売買に遇わない、幸せな人生を送る権利があるのです」と呼びかけた。

教育は、今日の世界的に重要な課題である。戦争と革命の 20 世紀に対して、教育と文化の 21 世紀をといわれるが、日本においても、いじめ、不登校、学びからの逃走が言われ、経済格差が教育文化の格差となって現れつつある現状が指摘されている。マララさんの指摘は、位相をかえつつ私たちとも無縁ではない。

教育の課題に対しては、「国民総ぐるみで」とよくいわれる。学校だけでは問題は解決できない。多くの分野の専門家が、教育の観点をもって、多様な場において課題の解決に当たることが求められている。

そうしたなかで、地域国際、多言語文化、自然環境、音楽、美術、体育、文化財など、専門性の高い本学の教養系専攻が、文科省や財務省の圧力によって消えつつあるのは、痛恨の極みである。人気も高く、今述べた社会的要請に応え、まさにこれから必要とされているにもかかわらずである。教員養成に鈍化増員しても、5～6 年後には需要減少が予測されているのに、何ということだろう。

それだけに、学校教育をリードしている卒業生、様々な分野で活動している卒業生の豊かな交流は、日本の教育活動を豊かにしていくために、次の 10 年に向けての重要な課題となる。

栃木、熊本、大分と、今年も各県で辟雍会が立ちあがっている。多くの卒業生が結集し、交流し合い、研究し合い、その成果を社会に還元していくエンジンが辟雍会である。新しい 10 年を迎え、それにふさわしい新しい活動の在り方を追求していきたいと思う。





クリエイター集合



Hekiyou Press Club

辟雍記者クラブが発足！ 第1期メンバーの3人を紹介します。
学生時代には、学芸大学の広報誌「TGU（旧「キャンパス通信」）」
の編集長を経験したバリバリの現役社会人です。それぞれ自分の
才能を生かして活躍している3人に、今後の活動についての意気
込みを聞いてみました。皆さんからの応援よろしくお願いします。

赤川 まどか

2012年に卒業（B類美術）しました。在学中はTGU学生編集長として広報活動に関わり、卒業後は各種上級学校の広告制作の仕事をしています。ゆるくしなやかに学芸大の輪をつなくお手伝いができますように！



山が大好きで、
山に取材行きたいとか。。

- ・TGU学生編集長（2009～2010）
- ・かち就2013スタッフ（2011～2012）
- ・大学の広報や多数のプロジェクトに参加



TGU編集長時代
（大島の取材で・2009）



学芸カフェテリア・学修支援メニュー



密かな話題を呼んだ大石学先生の
学芸カフェテリアの講座案内パネルは、
彼の傑作の一つ

劔持 龍一

学生時代（G 類表現コミュニケーション）は、学内広報誌「TGU」の編集活動をはじめ、附属図書館での展示企画、学内外の広告、パンフレット等のデザイン制作を行いました。現在はデザイン制作会社で、グラフィックデザイナーとして紙やweb 媒体の企画・制作にあたっています。また休日には、SAL-MANE という団体にインプロ（即興）の研究・実践活動を行っています。デザインもインプロも、人と人との関係を大切にします。卒業生だけでなく、在学生をはじめ東京学芸大学に関わる様々な方に価値のある情報を提供し、良い関係作りを手伝うことが出来たなと思います。どうぞよろしくお願いします。

- ・ TGU 学生編集長（2009～2010）
- ・ メディアラボ学生スタッフ（2012）
- ・ メディア講習会学生スタッフ（2012）
- ・ 大学の広報や多数のプロジェクトに参加

みなさんの
記者クラブへの
参加もお待ちしております。



写真を撮ることが得意。
本号でも本領発揮（p13-17）

クリエイター集合 Hekiyou Press Club



卒業制作は、カメラを抱えて、
ある動物園を徹底取材

渡邊 桜

大学時代（B 類美術）は、グラフィックデザインの研究に打ち込んでいました。卒業はしたものの、心はずっと学芸大に。

職場ではまだまだ新人ですが、辟雍記者クラブの一員として、学芸大をもっともっと楽しく盛り上げていきたいです！ たのしい誌面をつくれるようにがんばりますので、よろしくお願いします！

- ・ TGU 学生編集長（2011～2012）
- ・ かし就 2015 スタッフ（2013）
- ・ メディアラボ学生スタッフ（2012～2013）
- ・ メディア講習会学生スタッフ（2012～2013）
- ・ 大学の広報や多数のプロジェクトに参加



新潟出身で、
高校時代はボート部！



渡邊さんの特技は切り絵！



辟雍カレンダー

辟雍会は、東京学芸大学の学部等の学生、同窓生、教職員で構成されています。東京学芸大学の発展と社会への貢献に資するとともに、会員相互の交流と連携及び親睦を図ることを目的として、年間を通して以下のように活動しています。



運営委員会

お花見の会

理事会

幹事会

新入会者名簿作成

大学との意見交換会

幹事会

運営委員会



飯島和庭園と学士ネコ



組織拡大事業（支部設立事業、未加入新入生・卒業生への入会依頼）



学生企画事業の支援／会員支援事業



キャンパス環境充実支援事業



ウェブサイトコンテンツ制作・更新



初公開
へきようかい事務所



10 11 12 1 2 3



幹事会



学生委員交流会

全国代表者会議



ホームカミングデー



運営委員会

推薦入試合格者入会手続



幹事会



運営委員会



運営委員会



入学生入会手続



企業就職対策講座「かち就〜プレイクする」



秋の事務所周辺



組織拡大事業（支部設立事業）



学生企画事業の支援／会員支援事業



キャンパス環境充実支援事業



ウェブサイトコンテンツ制作・更新



機関誌、Hekigou 案内リーフレット編集・作成・配布



26 年度事業報告書提出
27 年度事業計画等提出

辟雍会 11 年目に生まれた辟雍キャラクター 3 兄弟

「ガクシ」と「ヨウヨウ」、「福郎」の3兄弟です。2013 年卒業生の八田さつきさんによるキャラクターです。

今後、辟雍会の発行物やウェブサイトにも登場する予定です。



ガクシ

ガクシという名前は、学獅子から来ています。生まれたばかりですが、11 歳です。無口ですが、おっちょこちょいです。キャンパスを散歩することが好きで、たまに桜の木に登ったり、桜の葉っぱを食べたりします。



福郎

福郎（フクロウ）は、知恵の女神です。ぴょんぴょん飛ぶのが好きで、よくヨウヨウの頭の上に座ったりします。



ヨウヨウ

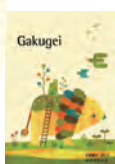
ヨウヨウという名前は、辟雍の「雍」から来ています。福郎と仲がよく、いつも福郎とガクシを見守っています。頭もよく、動作もしなやかで、好きなものはブドウです。



八田さつき Profile

グラフィックデザイナー、イラストレーター

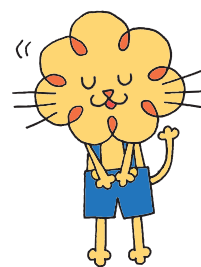
A 類美術選修卒業後、デザイン事務所勤務。広告・書籍などのデザインに携わる。現在、フリーランスで活動中。学芸大出版会で4冊の書籍の装丁・装画に関わる



八田さつきさんからのコメント

「ガクシ」は以前大学案内(2011 年制作)の表紙に使用したイラストの一部でした。今回辟雍のキャラクターとしてアレンジしました。私自身、辟雍会の一員としても嬉しいです。よろしくお願いいたします。

ぐうちゃんを知ってますか？



最近東京学芸大学のウェブサイトや広報物によく登場するキャラクターです。その名前が「ぐうちゃん」です。ぐうちゃんは、大学の学内広報誌「TGU」のメインキャラクターとして生まれました。5 歳の男児でおちゃめなキャラクターです。今後の活動にも期待です。

twitter → @TGU_guu



HEKIYOU INTERVIEW

HAKATA STUDIO

卒業生の博多哲也・博多歩による制作スタジオ。

二人を足して2で割ってちょうどいいカンジ。

二人でつくったものが、たくさんの人に届けば

もっといいカンジ！



お二人が働く事務所は横浜駅近くのとあるシェアオフィス。数人のクリエイターが同じフロアで仕事をしている環境。取材当日の雨模様を吹き飛ばす笑顔で記者クラブ陣を迎えてくださったのは、博多哲也さん、博多歩さん。

お二人共に学芸大出身であり、同じ研究室で学んだ先輩後輩であり、夫婦であり、仕事のパートナーでもあるという関係に興味津々です。辟雍会の取材らしく(?)「そもそも先生になる気はあったんでしょうか」とかなり直接的な質問から取材をスタートいたしました!

それぞれの学芸大ライフ

哲也 僕は最初多摩美術大学グラフィックデザイン学科が第一志望で、受かったんですが、学費の問題もあり、同時に受験して合格していた学芸大のG類美術専攻へ進学しました。なので先生になりたいというよりは、絵を描きたいという思いが強かったです。

入学してからもサークルに属さず、ずっと研

究室で一人で絵を描いていました。1年生の時に研究室に入った当時は、シルクスクリーンを先輩達がやっていて、手法もデジタルへの変わり目でした。手を動かしたかったけど最初は何をすればいいのかわからないので一人でデッサンをしたり、美術予備校時代の友人とイベントでポストカードを売ったりしていました。

1年生の冬に、美術科のグラフィックデザイ

博多 哲也 Hakata Tetsuya
2002年G類芸術スポーツ文化課程入学
神奈川県出身

博多 歩 Hakata Ayumi
2003年A類初等教育教員養成課程
美術選修入学
茨城県出身

HAKATA STUDIO
博多哲也・博多歩による制作スタジオ。
イラスト、キャラクター、アニメ、絵本制作など。
《Website》www.hakatastudio.com
《Twitter》@hakatetsu
《TEL》090-4222-9455
《MAIL》info@hakatastudio.com



1



2



3



4

1. 「やさしくはじめる入試問題の解き方」
キャラクター「ワカルカモ」を制作（学研
教育出版社 / 2011）

2. 有名すぎる地上デジタル放送推進キャラ
クター「地デジカ」

3. 全国学校図書館協議会選定図書と日本
図書館協会選定図書の2つに選ばれた絵本
「ひらがないろは」（日本地域社会研究所
/ 2006）

4. 「ひらがないろは」の制作に使った材料

ン研究室（以下、グラ研）の先輩の紹介でアニメーションのアルバイトをすることになりました。そこで、自分で作ったキャラクターが映像になって動いているのに感動して、「これをやりたい！」と思いました。その先輩づてに美大の仲間たちとも知り合い、アニメーション制作を通じて仲間の輪ができていったんです。そのあたりから、他の大学の人たちとお互いの技術を高めあうような大学生活になっていきました。

歩 私は最初ある別の大学を志望していましたが、学芸大学 A 類美術選修を知り、受験しました。なので私も先生になりたいという意思はあまりなかったですね。演鑑演劇部に入ってサークル漬けの毎日で、充実していました。美術棟のグラ研にいくと、いつもテツが一人で研究室にいたので、あの友人だちいないのかなと思っていましたね（笑）。

やや引きこもり気味（？）の哲也さんとは対照的に、歩さんは学芸大生ライフを満喫していた様子。哲也さんには“絵が描きたい”“表現したい”という強い意思があったからこそ、大学の外の世界に目が向いていたのでしょう。それはそれで哲也さんなりの充実した大学生ライフということ。

卒業、のち修行。 そしてフリーランスに

学部卒業後、お二人ともに大学院に進学し、その後哲也さんは映像制作会社（LLP）に、歩さんは広告制作会社にそれぞれ就職します。

哲也さんは、予想外の仕事内容と激務も相まって体調を崩し、1年半後に退職。歩さんもデザイナーとして働くよりも“絵を描きたい！”という気持ちが強くあり、半年で退職。それが二人とも、偶然にも同じ時期だったのです。こうして無職の夫婦が誕生し、お二人はフリーイラストレーターとして出発したのでした。

哲也 最初は、「地デジカ」というキャラクターの仕事を前の会社から引き続きやっていたんですけど、二人でどんな体制でやっていくかが見えていなかった時期なので、妻には1年間ほど他のところにアルバイトに行きながら僕の仕事も手伝ってもらっていました。

「地デジカ」が終わってからは、意見がぶつかったり、気分転換がうまくできなかつたりと、家でこもって仕事をする体制に限界が見えてきました。それでフリーになって2、3年後にこのシェアオフィスを借り始めて、そこから「HAKATASTUDIO」がスタートしました。

歩 独立して2、3年はお金と健康のことが不安でしたね。テツは体調を崩して前職を辞めていたのに、そんな状況でも夜中まで仕事をしなくちゃいけない。一緒に仕事していたのがテレビ業界の方たちで、業界の特徴なので仕方ないのですが、仕事の依頼の仕方が結構容赦ないんですよね。それを横で見ているのも辛かったです。シェアオフィスに来てからは、他の方の働き方も参考にして、土日もちろんと休んだり、夜遅くならないようにと時間の使い方を見直すことができるようになりました。

二人の原点と今後の夢

現在はプロジェクト単位で定期的に仕事の入るキャラクターデザインを主軸に、フリーのイラストレーターとして活動しているお二人ですが、そもそもどうして絵を描こうと思ったのでしょうか。制作活動の軸となる原点は何だったのでしょうか。

歩 小さい頃は内気で、ずーっと絵を描いているような子でした。「けろけろけろっぴ」が好きでよく描いてたので、私の原点は「けろけろけろっぴ」かな（笑）。小さい子にとっては自分の感情の解放の仕方がまだわからない時に、絵を描いて表現することはとても意味があると

「なれそめ」

はかた あゆみ 



哲也さんがグラ研の室長になり、その時に書道

科の学生の発案で書道科と美術科がコラボして

書道の絵本を作ろうという話になった。

哲也さん自身はアニメーションの制作に集中したかっ

たため、別の人をお願いしようと、やりたい人をメー

ルで募ったところ、もともと絵本に興味のあった歩

さんが立候補。

その時はまったくデザイン用のソフトを使えなかった

歩さんに、先輩の哲也さんが教えはじめたことで

仲良くなりはじめ、研究室でよく話すようになる。

哲也さん自身が、時間に関係なく、先輩たち

に夜中でも質問責めをして教えてもらっていたので、

自分も後輩にはちゃんと教えたいという想いがあった。

ある日学校の帰りに、哲也さんから告白し、歩

さんは一度は「保留」の返事をするも、その日

のうちに歩さんはOKを出して、ここに一組のグ

ラ研カップルが誕生したのであった。



1



2



3

1. 最近力を入れているコトリサンバ。アプリなどで展開している。(小学館)
<http://kotorisamba.net>

2. That's ANA マニュアルキャラクター「HANA」(角川学芸出版)

3. 博多歩さんが最近開発中の新キャラクター「もんじろう」まもなく辟雍会のHPで公開予定



いう思いがあります。イラストを描いたり絵本を描いたりする仕事をして、コンプレックスが解消された経験を次の子どもたちに還元していきたい。それが私の芯にあるものです。

なくなったらいいなとか漠然とですが思っています。私たちが作ったもので親兄弟や友人など誰かが喜んでくれて、その結果私たちも嬉しい、っていう好循環ができればいいな。

哲也 僕は子どもの頃、家にファミコンがなかったんです。友だちの家に行ってやってたんですが、自分の家でも楽しみたいくて、攻略本を買ってキャラクターやステージなどを模写していました。紙の上に表現することが単純に嬉しかったですね。

僕は、今はマンガが描きたいんですけど、すごくマンガにこだわっているわけでもなくて、メディアは何でもいいんです。作ったものが子どもたちとか美術を知らない人たちにも届くような、お話づくり、ものづくりがしていけたらいいなと思っています。

妻は猫が好きで、僕は釣りとか自然が好きなんですけど、そういったプライベートの趣味も仕事とリンクして、すべてがつながっているものづくりをしていくことが理想です。

歩 仕事とプライベートって、前は完全に分けて考えてたんですけど、最近は全部がつながっているなって感じています。それで世の中もよ

哲学的なことを考えた方が仕事しやすいと話す歩さん。対照的に哲也さんはどちらかというと技術的な追求に重きをおいているとのこと。二人で足して2で割ったら、ちょうどいいバランスなのかもしれません。



変わる学



教育組織を再編

1

来年度から教育組織を再編することになりました。

● 従来の教養系を教育支援系に再編し、次の7コースを設置します。

① 生涯学習コース（コース内に、生涯学習サブコースと、文化遺産教育サブコースを開設） ② カウンセリングコース ③ ソーシャルワークコース
④ 多文化共生教育コース（コース内に多言語多文化サブコースと、地域研究サブコースを開設） ⑤ 情報教育コース ⑥ 表現教育コース ⑦ 生涯スポーツコース

● 従来の教育系を学校教育系に再編し、いくつか新しい選修、コースを設置します。

初等教育教員養成課程（A 類）国語選修に、日本語教育コースを開設。

A 類に環境教育選修を開設。A 類ものづくり教育選修をものづくり技術選修に改変。

これからの学芸大学の発展を期待しましょう！

詳しい情報は大学のサイトで確認することができます。 www.u-gakugei.ac.jp



図書館は改修工事中

3

来春完成予定で、1階には「ラーニングcommons」が設置されます。ラーニングcommonsとは教科書や指導書をつかった教育実習の準備や模擬授業をすることができ、グループでの学習や話し合いをすることもできる空間のことだそうです。

2階、3階は資料等閲覧スペース。資料や文献を閲覧することや、静かに学習することができ、多様な学習ニーズに応えられるような環境が整えられるそうです。

入口には、館内のセキュリティを高めるために学生証や利用証で入館できるゲートを設け、利用者が安心して学習できる環境になります。

さらに、玄関の横にはカフェを設け、お茶を飲むこともできるようになるそうです。

生まれ変わった図書館が楽しみです。こちらぜひ足を運んでみてください！



その他

- S棟、N棟、C棟のトイレが改修工事中！
- 野球場も人工芝に変わります！



噴水がなくなったと思ったら、こういう仕掛けがありました^^。

学芸大の新しい顔「ケヤキ広場」

2

天然木によるウッドデッキが完成！その名前は「ケヤキ広場」です。

正門、図書館前の広場として『出会いと交流』が生まれる新たな空間の創出です。

ウッドデッキを設置することにより、ケヤキの根元の踏み固めを防ぐことにつながると考えられています。工事においては、密集して育成が劣っている樹木の間伐と、根を傷めずに「水と空気がタテに動く」土壌改良法（水圧穿孔+割竹挿入）などが実施されているそうです。ぜひ学芸大の新しい憩いの場にいらしてください！

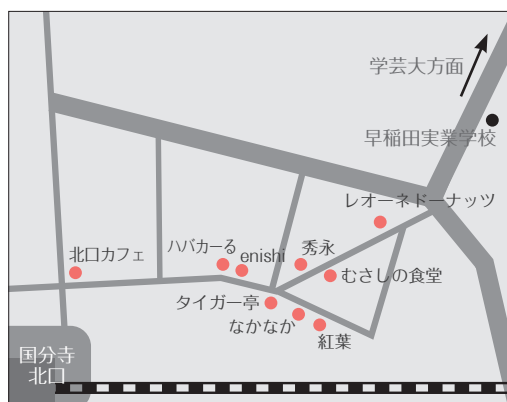
変わる学芸大



国分寺

～北口東側編～

Map2014



マルイの屋上から撮影した国分寺北口駅前の様子（2014年10月現在）。いくつかのお店はすでに閉店してしまいました。工事は2018年に完了予定です。



この道、覚えてますか？

記者クラブが選んだ

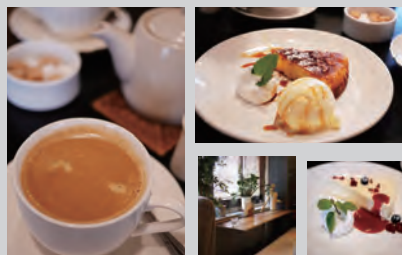
勝手にベスト Seven! + 3

今、国分寺駅北口周辺が市の再開発事業により大きく変わりつつあります。今回は最近の学芸大生に人気のある飲食店を紹介します。国分寺駅から学芸大への通り道には、リーズナブルで美味しいお店がたくさん！学芸大を訪れた際にはぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



北口カフェ 2010年～

〈11:00～15:00・18:00～24:00〉



スイーツポテのあったかケーキ¥580
+ドリンクセット¥250

以前は「ノースイグジット」という名前で営業されていました。北口では珍しい(?)お洒落なカフェです。遅くまで営業しているので大変ありがたいですね。

ソファでゆっくり
語らうならここ

あの頃とは町並みも、
自分自身も変わってしまった
けど、変わらない味がまだ
ここにあるよ。





LEONE DOUGHNUTS

(レオーネ・ドーナッツ) 2010年～
(11:00～15:00、18:00～24:00)



レオーネドーナッツ ¥130～



テイクアウトのみの焼きドーナッツ屋さんです。ライオンのマークが目印で、多くの学芸大生が学校帰りに買っています。

コーヒーも
売ってます！



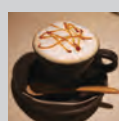
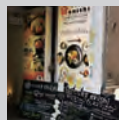
カフェ食堂 enishi 2012年～

(11:30～23:00)

店長さんは学芸
大学のOG!!



お肉定食 ¥750 (日替わり)



地下にある定食屋さんです。ランチは500円のメニューもあるのでお財布にやさしいです。野菜もとれるし、スイーツメニューもあるので女性客が多いそうです。

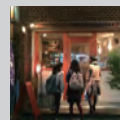


むさしの食堂 2011年～

(11:30～15:00、17:00～23:00)



ゴーヤチャンプルー定食 ¥1000



雰囲気
GOOD!!

見た目はカフェだけど、味もボリュームも◎の定食屋さん。学芸大生の人気のご飯屋さん第1位だとか。ホッとできるお店です。若い女性はもちろん、幅広い年齢の方がいらっやっています。



うどん なかなか

うどん屋さん。店の前に柴犬がいて、たまに吠えられます。



鶏そば ムタヒロ2号店

いつも行列ができています。醤油系あっさりラーメン屋さん。



中国料理 秀永

学芸大の教職員がよく利用しているとか。大衆的な定食屋さんです。

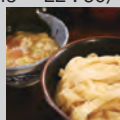


つけ麺 紅葉 2006年～

(火～金 17:45～23:30
土・日 11:45～15:00、17:45～22:30)



つけ麺 (並盛り) ¥750



東京のおいしいラーメン的な雑誌によく載っている有名店。飲み会の後のシメの一杯で行った人も多いはず。

麺は全部で5種
類アリ！

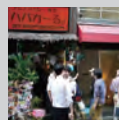


ハバカーる 2008年～

(11:00～15:00、18:00～23:00)



ふわたまのチキン Curry ¥680



学芸大生の好きなカレー屋さん第1位だとか。いつも行列ができています。アジアテイストのオリジナルカレーはここでしか食べられません。

店内の装飾品
にも注目！



タイガー亭 2014年～

(月～金 11:30～14:30、7:30～23:00
土・日・祝 11:30～22:30)



鉄鍋餃子 ¥480



以前は「虎萬元」という名前でしたが、今年虎からタイガーに生まれ変わりました。本格的な中華料理屋さんで、餃子がオススメです。

一杯やりますか
(^o^)/



平成 26 年度 各部活動報告

事業部

辟雍会事業部は次のような事業を行っています。

① ホームカミングデー支援事業

東京学芸大学と辟雍会でホームカミングデー（11月1日・土）を主催します。本年度第16回は大石 学先生を講師にお迎えし講演会を行います。講演のタイトルは「江戸の教育力」です。

また、同期間に開催される小金井祭行事にも参加、協力しております。

② 学生キャリア支援事業

学生キャリア支援事業として10月末から「かち就2016」を合計10回開催します。この事業は就職が内定した4年生や卒業生が中心になって3年生に対して企業への就職を希望する学生に就活準備や対策についての目標をもって指導するものです。毎年非常に好評です。又、「かち就2016」終了後も継続事業として「ブレイクするー」を開催の予定です。

③ 会員支援事業

（1）法律ゼミ

会員支援事業として「法律ゼミ」を46回経年に開催しております。これは、学校等で起きる様々な問題に対応するためには実践的な法律の知識が必要との観点から行っています。講師はOGの吉川総合法律事務所弁護士 磯崎奈保子氏です。（※本年度は、過去「法律ゼミ」で研修された判例等のまとめを1冊のブックに作成する作業をおこ

なっております）

（2）会員交流プログラム「X（クロス）」

会員同士の交流を促すプログラムとして「X（クロス）」を12月に行う予定です。

（3）現役学生企画による事業への支援

現役学生が企画する事業に支援しています。楽しく、有用なアイデアを募集致しておりますのでご応募ください。

④ キャンパス環境充実支援事業

大学キャンパスの自然環境の充実を図る事業を支援しています。大学の「学芸の森環境機構」との調和を考慮に連携を計りながら20周年記念飯島同窓会館庭園等の草木の手入れの作業をしております。

[文責：事業部長 小森 伸一]

総務部

総務部は次の六項目を柱に、全体的な連絡調整を行っています。

① 全国代表者会議、理事会、幹事会の開催

② 東京学芸大学との連絡・調整の実施

③ 既存の卒業生組織等との交流（総会・新年会等）

④ 新規会員の入会手続き及び名簿管理業務

⑤ 機関誌、予算書、決算書、事業計画等の発送

⑥ 規則等の整備・見直し

[文責：総務部長 本間 久則]



1



2



3

1.「2014年第16回東京学芸大学 ホームカミングデー」のリーフレット

2.「かち就2016」リーフレット

3. 今年の新入生に配布した辟雍会案内リーフレット



会計部

会計部は予算案の作成及び執行を中心に次の活動を行っています。

① 予算の適正かつ効率的な執行

② 平成 26 年度予算の計画

的確な会計事務の実施

[文責：会計部長 佐藤 節夫]

広報部

今年度の活動は、以下の 3 つです。

① 機関誌「辟雍 11 号」の発行

② ホームページの管理と充実

③ 大学行事での広報活動（辟雍会紹介リーフレットの作成）

①は昨年発行部数が 1 万部を超えた事情から今後は経費節減の観点からウェブサイト掲載と従来通りの紙面発行の両用で対応することになりました。徐々に前者に移行していく予定です。今年度から学生会員にはウェブサイト閲覧をお願いします。紙面利用者についても以後ウェブサイト閲覧をお薦めしていく予定です。

②についてはウェブサイト管理の合理化を図っていくために、今年度 CMS（Contents Management System）を導入し、それに伴ってウェブサイトを改変しました。

③はあたらしく本会紹介リーフレットを作成し、適宜広報活動に役立てたいと思っています。

[文責：広報部長 小澤 一郎]

組織部

組織部は、本年度も組織拡大事業として次にあげる 5 項目の事業を行っています。

① 支部設立事業

昨年度の近畿支部（京阪奈ブロック）、群馬県支部、佐賀県支部の設立を加えて、昨年度までに、19 の支部（北海道、青森県、岩手県、千葉県、群馬県、神奈川県、山梨県、新潟県、富山県、石川県、静岡県、近畿、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、高知県、佐賀県、鹿児島県）が設立されています。本年度は、これまでに 6 月 15 日（日）に栃木県支部が誕生いたしました（現在、20 支部）。また、熊本県、大分県でも設立に向けた準備会が現地で開催される予定です。さらに、次の候補となっている、宮崎県、香川県、福井県、秋田県の支部設立に向け活動しております。

② 新入生未入会者及び入学時に

未加入の卒業生への入会依頼

本年度も、昨年度に引き続き未加入の新入生への入会依頼を行いました。さらに、入学時に入会率が減少し始めた平成 22 年度以降の未入会学生に対して、卒業生となる時期に入会依頼を行う予定です。未加入在学生についても、様々な機会を活用して入会を勧め、会員数の増加を図ってまいります。

③ 学生委員との交流事業

10 月 24 日（金）に、辟雍会学生委員（各専攻・選修代表）との交流

事業として、辟雍会学生委員交流会の開催を予定しています。本会の活動内容の説明により本会への理解を深め、さらに、会員相互の懇親を深めることを目的としています。今後、本会への学生委員の関わりを深めて行く方向性を見出し、今後の学生委員の活躍に期待がもてる交流事業にしたいと考えています。事業の内容との関連も含めて、恒常的な交流事業へと発展させていくことができるものと確信いたします。詳細につきましては辟雍会ウェブサイトをご覧ください。

④ 既存支部の総会、会合等への出席

既に 20 の支部が設立されており、今後、それらの総会・会合等に積極的に参加して参ります。

⑤ 卒業・修了予定学生への配布物作成

これまで毎年、後学期（昨年度からは、秋学期と呼ぶ）の授業終了時期に、「卒業生・修了生のみなさんへ」というタイトルで、印刷物を配布しています。本年度も、特に、支部組織の紹介を通して、各支部への参加の呼び掛けに力を入れて作成し、配布する予定です。

[文責：組織部長 二宮 修治]



Vol.11
2014



あとがき

『辟雍』第11号をここにお届けします。まずは、これまでの体裁とは様相が異なることにお気づきと思います。横書きです。これまでの機関誌は縦書きを基本としてきましたが、10年を経過した本会が次の10年に向かう新たな決意をこの横書きスタイルに込めました。そして内容については継続する企画に加えて、新しい視点による企画も盛り込みました。また編集・取材に際しては比較的若い年代層の卒業生に参加してもらいました。これからの本会の発展には、こうした若い世代の会員の発想や活動が欠かせないものと思います。

本会の広報活動についてはこの『辟雍』に加えてウェブサイトもあります。こちらは去る9月に一新しました。できるだけ新しい情報を挙げて、会員一同が共有できるように心がけてまいります。支部の元気な声も届けたいと思います。

今年度より、本学に在学する会員にはこのウェブサイトに掲載された『辟雍』をご覧いただくことになりました。その他の会員には従来通り紙面による本誌を届けております。

本誌やウェブサイトを通じて会員相互のつながりがより強められることを願っています。

[広報部長 小澤 一郎]



辟雍

HEKIYOU

辟雍会 11年目の
新しいスタート

Hekiyou Press Club	赤川 まどか (Writer p13 ~ p17, Design p20 ~ p21)
	剣持 龍一 (Photograph p13 ~ p17)
	渡邊 桜 (Interviewer p13 ~ p17)
Illustration	八田 さつき
Desk	林 静代
	大澤 一美
Editor & Art Director	金 ミンコン
Special Thanks to	正木 賢一、永嶋 さゆり、佐々木 梢、山本 真央

発行人	鷺山 恭彦
編集	辟雍会 広報部
印刷	(有) サンプロセス
お問い合わせ	東京学芸大学辟雍会
	〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
	20周年記念 飯島同窓会館 2 階
TEL / FAX	042-321-8820



@hekiyoukai



www.hekiyou.com



秋の学士ネコ「マエ髪」



edit@hekiyou.com

記者クラブに参加したい在学学生を募集しています。

以下の項目をメールでお願いします。

- ① お名前
- ② 連絡先（メールアドレスと電話番号）
- ③ 所属と学年

また、辟雍ウェブサイトの記事を投稿したい方！

機関誌「辟雍」に記事など提供したい方もご連絡お待ちしております。



ウェブサイトや機関誌「辟雍」へのご意見・ご感想もお待ちしております。





www.hekiyou.com